

平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年2月10日

上場会社名 株式会社北川鉄工所 (コード番号：6317 東証第1部)
 (URL <http://www.kiw.co.jp/>)
 問合せ先 代表者役職 代表取締役社長 TEL:(0847) 45 4560
 氏名 北川 祐治
 責任者役職 常務取締役経営管理統括
 氏名 安藤 攻

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)

・有形固定資産の減価償却の方法……年度見込額のうち当第3四半期分までを計上しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(注) 金額は百万円未満の端数を切捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	27,016	18.3	506	-	734	-	547	-
16年3月期第3四半期	22,838	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	32,338		577		749		776	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第3四半期	6.50	6.49
16年3月期第3四半期	-	-
(参考)16年3月期	9.24	9.23

(注)1. 売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 売上高以外の項目につきましては、当期より四半期の経営成績の開示を実施しておりますので、前年同四半期の経営成績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における当社グループを取巻く事業環境は、民間設備投資の回復基調と米国、中国を中心とした外需の好調にささえられ、工作機器事業においてはチャックやシリンダをはじめとした主力製品で、素材材事業においても自動車、農機具部品を中心に堅調な受注が続いております。一方で、産業機械事業、住環境事業においては依然として公共投資が減少するなか、市場は厳しい状況で推移いたしました。また、鋼材を中心とした原材料価格が高騰するなか、原価削減を推進すると共に製品価格の改定や選別受注の推進に努め、収益の確保に取り組んでまいりました。その結果、当第3四半期の業績は、売上高27,016百万円（前年同期比18.3%増）、経常利益734百万円、四半期純利益547百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(注) 金額は百万円未満の端数を切捨てて表示しております。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	41,034	15,812	38.5	187.59
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	38,806	15,399	39.7	183.21

(注) 当期より四半期の財政状態の開示を実施しておりますので、前年同四半期の財政状態については記載しておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は41,034百万円となり、前期末に比べ2,227百万円の増加となり、一方で、負債は25,197百万円となり、前期末に比べ1,801百万円の増加となりました。これは、産業機械事業及び住環境事業において、受注物件の納期が第4四半期に集中する傾向にあるため、たな卸資産が2,182百万円増加し、支払手形及び買掛金が1,940百万円増加したことによるものであります。

株主資本は15,812百万円となり、前期末に比べ412百万円の増加となりました。これは、四半期純利益547百万円と支払配当金209百万円の計上が主な要因であります。

[参 考]

平成17年3月期の連結業績予想（平成16年4月1日 ~ 平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	百万円 38,900	百万円 1,200	百万円 900

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 10円68銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当四半期における業績は概ね計画通りに推移しており業績予想に修正はありません。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。